

平成21年7月28日

各 位

会社名 株式会社 ア ト ム
代表者名 代表取締役社長 植田 剛史
(コード番号 7412 東証・名証 第二部)
問合せ先 管理本部長 太田 一義
(連絡先電話番号 052 249 5225)

特別損失の発生並びに平成22年3月期第2四半期累計期間及び通期
(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

1. 特別損失の発生について

平成22年3月期第1四半期連結会計期間の決算処理において以下のとおり特別損失を計上する見込みです。

	連結	個別	内容
	百万円	百万円	
減損損失	154	154	「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社営業店舗5店舗及び事務所1箇所について減損損失を計上する見込みです。
固定資産除却損	112	115	閉鎖店舗1店舗及び業態変更、リニューアル等による店舗設備の除却損を計上する見込みです。
店舗閉鎖損失引当金繰入額	97	97	翌会計期間以降に発生が見込まれる7店舗及び事務所1箇所の閉鎖関連費用を計上する見込みです。
たな卸資産処分損	24	24	閉鎖店舗(レンタル・リサイクル店)のたな卸資産処分損を計上する見込みです。
賃貸借契約解約損	14	14	店舗閉鎖に伴う賃貸借契約の解約に関連して発生する費用を計上する見込みです。
計	404	407	

2.上記の特別損失の発生により、平成21年4月28日付の「平成21年3月期 決算短信」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

(金額の単位：百万円)

第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,078	959	877	649	3.66
今回修正予想 (B)	21,836	836	785	219	1.58
増減額 (B - A)	1,241	122	92	869	
増減率 (%)	5.4%	12.7%	10.5%		

通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	46,582	2,010	1,850	2,382	13.84
今回修正予想 (B)	43,480	2,100	1,960	2,488	14.49
増減額 (B - A)	3,101	89	110	106	
増減率 (%)	6.7%	4.4%	5.9%	4.5%	
(参考)前期連結実績 (平成21年3月期)	24,940	446	529	143	2.79

第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,072	907	826	616	3.46
今回修正予想 (B)	21,830	790	740	253	1.78
増減額 (B - A)	1,242	117	86	869	
増減率 (%)	5.4%	12.9%	10.5%		
(参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	12,516	246	273	179	4.46

通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	46,570	1,912	1,754	2,318	13.46
今回修正予想（B）	43,468	2,007	1,870	2,423	14.09
増減額（B - A）	3,102	95	115	105	
増減率（％）	6.7%	5.0%	6.6%	4.5%	
（参考）前期実績 （平成21年3月期）	24,939	436	518	136	2.61

3. 業績修正理由

(1) 第2四半期連結累計期間及び第2四半期個別累計期間の業績修正理由

今期になり消費低迷から既存店の売上が減少し収益が悪化したことから、不採算店の再見直しを行い、損失の大きい不採算店舗の閉店を進めた結果、上記1の特別損失が発生することとなりました。

この結果、売上高は連結・個別ともに当初予想に対して5.4%減少、営業利益は当初の予想に対して連結で12.7%減少、個別では12.9%の減少、経常利益は連結・個別ともに当初予想に対して10.5%減少し、四半期純損失は連結2億19百万円、個別2億53百万円となる見込みです。

(2) 通期連結業績予想修正の理由

当第1四半期及び第2四半期において不採算店舗を閉鎖することにより、売上高は連結・個別ともに当初予想に対して6.7%減少しますが利益面は改善し、営業利益は連結で4.4%、個別で5.0%当初予想より増加、経常利益では連結で5.9%、個別で6.6%当初予想より増加、当期純利益では連結・個別ともに4.5%当初予想より増加する見込みです。

（注）上記の業績予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上